

佐倉市議会だより



2019年8月15日
(令和元年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



上 段： 密本 成章 石井 秀明 玉城 清剛 齋藤 寛之 押木 孝和 岡野 敦 稲田 敏昭 高橋 とみお 川口 絵未
中 段： 鍋田 達子 宇田 実生子 徳永 由美子 山本 英司 敷根 文裕 高木 大輔 平野 裕子 斎藤 明美 木崎 俊行 松島 梢
下 段： 久野 妙子 石渡 康郎 五十嵐 智美 萩原 陽子 中村 孝治 櫻井 道明 藤崎 良次 岡村 芳樹 爲田 浩

市民の代表として、市民からの要望や意見を市政に反映させる市議会議員



第61代副議長
為田 浩 副議長
平成23年4月初当選以来、連続3期目。この間、建設常任委員長、経済環境常任副委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕



第63代議長
石渡 康郎 議長
平成23年4月初当選以来、連続3期目。この間、57代副議長、文教福祉常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

5月臨時会

5月臨時会を5月16日に開催し、市長から「令和元年度佐倉市一般会計補正予算」など議案7件が提出され、審議の結果、いずれも可決・承認・同意しました。また、議長と副議長の選挙を行い、議長に石渡康郎議員、副議長に爲田浩議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。（議会の構成については8ページに掲載しています）

議長に 石渡 康郎 議員
副議長に 爲田 浩 議員
を選出

表彰
議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が全国市議会議長会から表彰されました。

- 特別表彰
議員在籍40年
富塚 忠雄(前)議員
- 議員在籍20年
押尾 豊幸(前)議員
- 清宮 誠(前)議員
- 一般表彰
正副議長就任4年
櫻井 道明 議員

6月定例会

一般会計補正予算・修正可決

（おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを
伝えたい事業の見直しを求める修正提案）

佐倉市議会は、6月17日から7月10日までの24日間にわたり、令和元年6月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和元年度佐倉市一般会計補正予算」など議案17件が提出され、審議の結果、議案第1号の一般会計補正予算は修正可決、そのほかの16件はいずれも原案のとおり可決しました。請願については、「国における2020年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など3件が、議員提出議案については、「信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書」など9件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に15人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

市政に関する

一般質問

6月定例会では、6月24日から6月27日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(8月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(8月下旬配信予定)からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。()内は会派名。

Table with 2 columns: Questioner Name (e.g., 櫻井道明, 久野妙子, 山本英司) and Topics (e.g., 市長の政治姿勢, 産業経済の活性化, 高齢化・少子化対策).

個人質問

Table with 2 columns: Questioner Name (e.g., 鋼田達子, 押木孝和, 高木大輔) and Topics (e.g., 液体ミルク等について, SDGsの実現について).

※上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会 櫻井道明

市長の政治姿勢について

問 新たに市長に就任されたが、どのような課題を持ち、将来どのような市にしていきたいか。今後の市政運営の抱負についてお聞きしたい。

答 人口減少、インフラの老朽化問題など多くの課題を抱えており、解決に向けて独自の政策や財源確保が必要であり、オール佐倉の精神で、市政のかじ取りに努めてまいりたい。

産業経済の活性化について

問 市内において、イノシシによる農作物への被害が増えているが、その対策は...

を進めるほか、ワナを設置する際に必要な免許取得費用の助成を通じて、有資格者の増加に取り組み。未来の佐倉に向けたまちづくり

（仮称）佐倉西部自然公園について

問 進捗状況をお聞きしたい。

答 下志津地区は土地所有者と用地取得の交渉を行っているが、価格の折り合いがつかない。畔田地区は、（仮称）佐倉西部自然公園合同会議との協議と並行して用地交渉に着手する予定である。

市民体育館の建て替えを検討しているが、いかがか。

問 市民体育館の建て替えを検討しているが、いかがか。

答 施設の老朽化を踏まえ、将来にわたり、よりよいスポーツ施設の整備となるよう、岩名運動公園への集約

化も含めて検討していく。

世界に佐倉市をPRするため

問 世界に佐倉市をPRするため、岩名陸上競技場の名称に小出義雄氏の名を冠したら、いかがか。

答 高橋尚子選手をはじめ、数々の日本を代表する選手を育成した小出義雄氏の名を陸上競技場に冠することは世界に佐倉市をPRできると考えており、ご遺族の意向を確認し、今年度中に名称変更を行いたいと考えている。



公明党 久野妙子

市長の政治姿勢

問 公明党最大の持ち味は、地方議員と国会議員がしっかりと連携し、一人の小さな声であっても政策に反映し実現していくことにある。私たちが会派の姿勢について、

西田市長の考えを伺う。

会派の姿勢と共通する地域包括ケアシステム

問 高齢になっても最後まで安心して住み続けるため、住まいサポート事業を立ち上げた福岡市社協の研修を受けてはどうか市長に伺う。

答 貴重な意見である。今後研究し方向を示していく。中高年の引きこもり

問 当事者及び家族の多くは、相談窓口や支援団体の存在がわからず悩み、孤立している。情報を入手しやすい環境整備が必要である。今後の取り組みを伺う。

答 わかりやすい情報発信に努めていく。

福祉全般に関するワンストップ対応が必須である。

問 福祉総合窓口の新設を要望。学校トイレの洋式化

間や公共施設は洋式が一般的だが、学校は和式が多く子どもたちは不便を感じている。洋式化を訴えてきたが、今後の整備予定は。

今年度は設計業務、来年度から工事を進め、令和7年度を目途に全校の改修を実施していく。

問 老朽化が進み、においや設備面での不具合もある。今後の改修計画を伺う。

答 洋式化のほか、配管更新、床の段差解消、内装、扉の改修など、総事業費は約32億円を見込んでいる。

高齢化に伴いペットボトルは店頭回収から集積所回収とすることを要望する。

問 前向きに検討していく。指定ごみ袋は少量だと大きな袋はもったいなく、小瓶は重過ぎて運べない。小

型も作るべきではないか。ニーズをみて作成する。

市長の政治姿勢について



自由民主党 山本英司

問 オール佐倉という言葉をよく使われるが、具体的な内容は。

答 市民、市議会議員、市内業者及び各種団体等さまざまな方々と知恵を出し合いながら市政運営を進める。自助、共助、公助による安心、安全なまちづくりについて伺う。

答 市民の皆さんへ自助、共助の重要性を「こうほう佐倉」防災特集号、防災ガイドマップ等による周知や、各地域の防災訓練等における防災講話や避難所運営訓練などにより伝えている。道路問題について

問 神門交差点の渋滞解消のための右折ラインの設置についての進捗状況は。

答 今年度は、交差点の佐倉方面側において、両側の歩道約210メートルの整備を県が実施する。

問 国道51号は四街道市も酒々井町も4車線になっていく。佐倉市だけ2車線のままだが、4車線の促進について伺う。

答 経済や地域の活性化、防災、減災対策などさまざまな観点から必要性を訴え、国や県に継続的に要望活動を行う。

庁舎の建て替えについて

問 建築後50年近くたっている本庁舎は老朽化が進み、バリアフリーにも十分対応ができていない。今後の方針について伺う。

答 本庁舎の建て替えについては、平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画においても検討の必要があるとしており、建て替えに向けての検討を開始すべき時期であると考える。

空き家バンクについて

問 空き家バンク制度の利用促進のために、企業誘致の際のように、固定資産税の助成はできないか。

答 税負担の公平性などの課題もあるので、慎重に研究していく。



市民ネットワーク 五十嵐智美

市長の所信表明について

問 「市民目線で開かれた市役所の実現」とある。前市長はトップダウンでの決定や市民意見を反映しない状況があった。今後の市政運営についての見解を伺う。

答 多様な意見を聞き対話し意思決定過程の透明化を。問 体育館を岩名運動公園に移設し大規模化すると市長の発言があった。これまでの市の方針は長寿命化だが、どう検討していくのか。

答 諸計画との整合を図り、運動公園の集約を含め検討。問 市民の意見聴取だけでなく、どう反映するのか、しっかりとした取り組みを。問 平和都市宣言に沿った施策

問 市長が参加を表明した平和首長会議では、計画で核兵器禁止条約の早期締結を国に要請するとしている。どのように行動するか伺う。

答 条約は大変意義あるもの。首長会議で取り組む。問 安倍政権の九条改憲は九条が死文化するといわれているが、市長の見解は。

答 改正は国会でのこと。平和の尊さを大事にする。問 教科書採択について

問 毎年採択結果公表は9月1日。昨年白井市で情報公開請求により結果を8月に開示。今年対応を伺う。

答 8月中に公表する。



市民オンブズマン ひまわり会 藤崎良次

西田新市長の政治姿勢

問 市長は選挙において2万4420票を獲得した。有権者14・6万人の約6分の1である。行財政改革への取り組み方針は。

答 全ての事業を対象にした見直しと費用対効果の検証を進め、安定した行財政、市民サービスの充実に取り組んでまいりたい。問 障害者施策の方針は。

答 今の福祉施策について、計画的に推進し、充実を図ってまいりたい。問 教育勅語について

問 教育勅語は、昭和23年に衆議院、参議院において排除、失効が決議された。教育勅語への取り組みは。

答 教育勅語の精神を佐倉の子供たちに押しつける気持ちはない。問 戦没者追悼式の休日開催

問 休日開催の意義等は。答 参加しやすい休日開催は有意義と考える。今年度は11月30日(土)である。問 小中学校トイレの洋式化

問 前議会の答弁では20年も要する計画だった。その後の検討による計画は。答 令和7年度に100%整備を目標として進める。問 もっと早くしたほうが

良い。国の交付金は。答 総事業費32億円、交付金は約10億円を見込む。



日本共産党 萩原陽子

平和都市宣言を施策に反映

問 自衛隊への適齢者名簿提供は行っているか。答 実績なく、今後慎重に判断する。問 生きる力と教育の平等

問 日本の教育費の負担は重い。家庭の経済環境に関わらず安心して学ぶための就学援助制度は重要だが、利用状況はどうか。

答 H21年度は4・6%、H30年度は7・8%である。問 利用児童が年々増加し

中学校では9%を超えた。子どもの7人に1人が貧困利用しやすい制度にするため、国が不要とする民生委員の関与をなくすべき。

答 申請者がためらわないよう努めることが重要。問 子どもの育つ環境の整備

問 大津市で園児が事故に遭ったが、市内に園庭のない保育園は何か所あるか。

答 現在8施設となった。問 園庭は必須条件とすべきではないか。

答 園庭があることが望ましく、確保を基本とするが、県の基準に照らし整備する。問 公立保育園は園庭、給食、保育士の待遇等地域の保育水準を保つ役割を果たし、減らすべきではない。



個人質問 鍋田達子

公明党

問 乳児用液体ミルクについて 災害時にはお湯も不要、常温保存可能で乳児の貴重な栄養源に。備蓄品とすることについて考えを伺う。

答 災害時に備蓄するとともに家庭用備蓄も勧める。問 外出時や深夜の利用等男女を問わず育児負担が軽減され、女性の社会進出・活躍に有効ではないか。

答 男性の育児参加の促進や女性活躍社会の推進につながるかと考える。問 ヘルプカードヘルプマーク

問 義足や内部疾患、言葉の障害等外見ではわかりにくい障害のある方のためのヘルプカード周知策を問う。

答 チラシやポスターなど市の関係機関等への掲示等普及・啓発を図っていく。問 給食費の無償化に向けて

問 経済的負担軽減や少子化対策、定住・転入促進のため段階を踏んだ無償化や補助等について考えを伺う。

答 就学援助制度及び給食費の支援を継続していく。



公明党 押木孝和

SDGsの実現について

問 SDGsの目標の一つ、食品ロス削減について市の施策や取り組みを伺う。

答 食品ロス削減に向け、ホームページ等で「3010運動」を推進している。問 皆様から善意で集めた

金銭や物品を生活困難者支援に役立てる善意銀行の周知方法及び市の貧困対策は。

答 窓口でのチラシ配布や相談の中で善意銀行を紹介、また他の制度を紹介し自立に向けた支援を行っている。問 市民の安心・安全について

問 重大な交通事故が多発する中、市の安全対策は。答 重大事故発生時には現地診断を行い、必要な対策を講じている。通園ルートは、安全確保の点検を進め、対策を講じていく。

問 街灯の設置計画を問う。答 今年度、寺崎土地区画整理地内の街灯未整備地区など125灯を整備予定。その後も順次整備していく。

問 インフラ整備について 市内のインフラの一つである幹線道路は、整備が順調には進まない状況が見られる。利便性に優れ、災害時の緊急輸送路ともなり

える幹線道路を整備することとは、安全、安心なまちが

つくられ、結果として市の定住人口の促進につながっていくものと考えられる。そこで、幹線道路の整備について市長の決意を伺う。



高木大輔



安心安全なまちづくりを進めるため、さまざまな方の協力を得て、早期開通を目指していきたい。

特に、成田空港や首都圏への大動脈である東関東につながらる国道51号の整備を進めることは、災害時など、佐倉市がバックアップの重要な拠点となることにもつながる。また、佐倉市内の他の道路の問題にも影響を与えていくと考える。

ぜひ国道51号の重要性を訴え、国、県と連携して早期に実現するよう要望する。



徳永由美子 自由民主党

市長の政治姿勢について

子どもの権利条例は。

子どもたちが育つ喜びを感じる社会の実現を目指し制定を考えていく。

審議会等の若年枠は。

若年層参画の必要条件把握と募集方法を研究する。

無農薬野菜の給食食材への導入の現状と課題は。

南志津小へ月2回供給。必要な量を供給できる生産者の調整が難しい。

特に大規模校は供給の課題があるが子どもたちの食の安全に努めてほしい。

IT関連企業等誘致は。

コラボサクラも受け皿として誘致を推進していく。

育児等と仕事の両立や昼間人口の増加も期待でき、幅広い企業誘致を求める。

特別支援教育について

医療的ケア児の協議体の設置と支援策は。

医療的ケア児等に特化した作業部会の設置を検討。レスパイトケアを含めた家族への支援も検討していく。



密本成章 自由民主党

工業団地周辺の道路状況

工業団地周辺の渋滞解消のため都計道4本の進捗状況と、寺崎北交差点の渋滞解消への取り組みを伺う。

岩富・寺崎線については、今年度用地測量完了予定。他3本の都計道も順次整備促進を図る。寺崎北交差点については、来年度の幹線道路整備方針の見直しの中で総合的な検証を行う。

運転免許自主返納優遇措置

免許返納後は日常生活に支障が出る。健康寿命維持、市民の安心安全のためコミバスの取り組みを伺う。

交通空白地域の羽鳥、飯重、寺崎エリアは、第2次佐倉市地域公共交通網形成計画で検討を進める。

佐倉市の待機児童

待機児童解消への取り組みについて伺う。

寺崎地区に小規模保育園を新規整備、志津北部地区、佐倉地区は幼稚園から認定こども園へ移行する施設の整備を行い対応する。



玉城清剛 自由民主党

登校時の安全対策について

井野町2区の児童は、国道296号線と多くの車両が行き来する京成の踏切を渡らなければならず、危険な状態で登校している。市では安全通路舗装工事による安全対策を実施済みだが不十分。時間制限による通行止めか校区変更を検討したい。

児童が危ない思いをしていることから、関係機関との話し合い、この踏切周辺の道路の問題について研究していく。

敬老会について

西志津地区19自治会では、敬老会のフェスタを実施している。平成30年度の参加者は880名である。約100名の方が準備等をお願したい。

お年寄りには、今まで佐倉を支えていただいた。十分に議会で考える必要がある。お年寄りを大切にしたい気持ちは皆さんと同じ。

リセット佐倉の意味は

市民目線で開かれた市役所、意思決定のプロセスは徹底した透明化を図ると掲げていたが、図書館建て替え、公民館の使用料、コ

ミバス料金の値上げ、敬老会中止について振り出しに戻して見直すということか。

市長就任前の佐倉市は、市民、議会、職員が、自由闊達に意見を交わす環境が整っていないと感じた。この状況を改善したいとの思いをリセット佐倉の言葉に込めた。見直すべきは改善し、継承すべきは引き継ぐ。

京成佐倉駅北口エレベーター設置について

バリアフリー法改正に伴い要望に留まらず京成電鉄と協議する構えはあるか。

京成電鉄と協議し、必要な措置を検討する。

特別養護老人ホームの整備

現状と今後の計画は。

待機者299人で定員853床、来年度154床増設。再来年度分は公募中。

交通事故等の安全対策について

小学校や保育施設等で行われている交通安全指導の実施状況と指導の内容は。

全小中学校及び市立幼稚園で実施。通学路での現場指導はもとより、1、2年生は横断歩道における歩行指導、3年生以上は自転車の乗り方などを指導しており、命の大切さについて考える機会としている。

保育園では、日常の散歩など園外活動において経路等

の安全確認などを図りながら交通ルールの指導を行っている。

駅周辺の整備について

京成佐倉駅とJR佐倉駅周辺の整備についてどのように進めていくのか。

地域の景観を牽引する佐倉図書館の建て替えをはじめ、京成佐倉駅とJR佐倉駅を結ぶ新たなバスの運行などによって、駅と公共施設及び歴史的施設とのネットワークの強化を図る。

防災の備えと訓練について

佐倉市が近い将来大地震、ゲリラ豪雨、台風等による激甚災害に襲われる可能性は高い。その意味で、「飲料水」「電力」「財政」の十分な備えとあわせ、実践的防災訓練の実施が市民の命を守るために重要だ。

現在飲料水の備蓄がない5指定避難所（印南小、白井小、根郷小、内郷小、佐倉小）に早急な飲料水の備蓄が必要だが、その見直しは。

根郷小は水汲み上げポンプが壊れているので更新する。その他4カ所については努力する。

市内39カ所すべての指定避難所に、太陽光発電等による夜間照明とあわせ、携帯電話等の充電が可能な設備の設置が必要だが、その見直しは。

今後、夜間照明や携帯電話等の電源確保のため、太陽光等自然エネルギーを利用した発電機等の配備について関係部課と協議する。

災害時の防災体制について

災害時の高齢者、障がい者など、要支援者の孤立防止策を伺う。

避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援を担う関係者へ提供しており、その名簿をもとに、避難支援を行っていく。

若者世代の社会参画

若者世代の社会参画の促進と、意欲を引き出す政策について伺う。

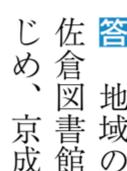
今後も青少年育成に関わる団体のPRと、その活動への支援を推進していく。

農業の作業効率向上や後継者問題の解決に不可欠となる、ほ場の整備について、佐倉市の方針を伺う。

地域で、どのような農地を、誰と、幾らで耕作していくのか等を話し、国・県・市の補助を通じて、ほ場を整備する「農地中間管理機構関連農地整備事業」の活用を検討している。

放射線副読本について

文科省作成の放射線副



高橋とみお 自由民主党

今後、夜間照明や携帯電話等の電源確保のため、太陽光等自然エネルギーを利用した発電機等の配備について関係部課と協議する。

災害時の防災体制について

災害時の高齢者、障がい者など、要支援者の孤立防止策を伺う。

避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援を担う関係者へ提供しており、その名簿をもとに、避難支援を行っていく。

若者世代の社会参画

若者世代の社会参画の促進と、意欲を引き出す政策について伺う。

今後も青少年育成に関わる団体のPRと、その活動への支援を推進していく。

農業の作業効率向上や後継者問題の解決に不可欠となる、ほ場の整備について、佐倉市の方針を伺う。

地域で、どのような農地を、誰と、幾らで耕作していくのか等を話し、国・県・市の補助を通じて、ほ場を整備する「農地中間管理機構関連農地整備事業」の活用を検討している。

放射線副読本について

文科省作成の放射線副



川口絵未 市民ネットワーク

今後、夜間照明や携帯電話等の電源確保のため、太陽光等自然エネルギーを利用した発電機等の配備について関係部課と協議する。

災害時の防災体制について

災害時の高齢者、障がい者など、要支援者の孤立防止策を伺う。

読本は原発事故被害や健康被害を過小評価している。人体への影響を正確に教えるべき。

データや内容は正確と認識している。

佐倉小・素読教材について

「まごころの言葉」掲載の大正4年制定児童心得

「家庭や地域の人たちの教えを守り指示に従うこと」「何事にも我慢してわがままを言わないこと」や佐倉尋常高等小学校校歌は「萬世一系皇統の」という歌詞

で始まり子どもの権利を否定する内容で大変問題。論語等も基本的な誤りが多い。内容をどう考えているか。

児童心得は学校生活の中で子どもたちに学んでほしい内容と認識している。

佐倉図書館建て替え

場所や地下化を見直し、若者のスペースの増設を。

現設計案で進め、若者スペースはさらに検討する。



市民ネットワーク 松島 梢

プラスチックごみ削減

市の主催する会議では、ペットボトル飲料を配布しない。公共施設にウォーターサーバーを設置する等に取り組み予定はないかを伺う。

周知、啓発を実施する。ウォーターサーバーの設置は、維持管理を考慮すると難しい。

印旛沼クリーンウォークで振る舞われるすいとんにリユース食器を使用しているが拡充の意思はないか。

プラスチックごみ減量化のための一つの手法として、紹介していく。

地域公共交通について

高齢者の方に割引になるバスを交付すれば免許の自主返納者と、もともと免許のない人との公平性が保たれると思うが、いかがか。

高齢者の移動支援については、現在策定している第2次地域公共交通網形成計画に位置づけ検討していく。



市民オンブズマン 宇田美生子

市長報酬削減について

削減する意思はない。高齢者、妊産婦、子育て世代等の福祉サービスの充実

タクシーを利用しなければ移動が困難な高齢者(運転免許証自主返納者を含む)や妊産婦、また子育て世代等への外出支援タクシ

ー利用制度確立を求める。タクシー利用料金の助成という方法も含め、近隣自治体の事例等を研究しながら適切な方法を検討する。

運転技術に不安を感じている高齢者ドライバーへの緊急措置、安全装置を取り付ける器具に対する補助金制度の確立を求める。

国や県の動向を注視しながら関係機関と連携し、有効な手段の検討を進める。

制度確立のためのプロジェクトチームの早急な立ち上げを求める。急を要するため市長、議員の報酬を一時減額してでも予算を確保すべきであると考えている。



日本共産党 木崎 俊行

景気は悪化中、10%増税中止を。市民負担を増やすな

佐倉市民にだけ特別なゆとりがあると考えると消費増税ありきで公共施設の利

用料等を値上げするのかわる。景気は穏やかに回復と分析され、増税による財源は安定した生活に資する。

市長公約・学校給食費補助

若い世代から最も要望が強かったこの公約、掲げてみたが無理だったと市民に報告してもよいのか。第3子以降を半額とすること

などを含め、検討を望む。現状のまま進める。

コミバス運賃100円へ

年金では2千万円足りない報道の中、コミバス100円は圧倒的要望。自主返納割引2年では不満、出張所手続き可能へ。公共交通の共通利用券助成制度を求む。

民間バスに合わせ200円、返納割引も2年。出張所手続きは検討する。共通利用券助成制度は研究する。



少年高齢化対策について 敷根文裕

市内に2100世帯ある空き家だが、全国300を超えて自治体には空き家

対策、耐震化促進事業の一環として解体費用を賄うための助成金制度がある。空き家問題解決のため、建て替えを前提とした古い建物の解体費用助成も効果を発揮すると思うが、どうか。

建て替え解体支援は空き家対策、定住化対策、耐震化対策につながるかと考え、現在補助制度導入に向け具体的検討を進めている。

市民サービス充実について

佐倉市の納税等に関して、クレジットカード納付や自動引き落とし先の銀行を増やし市民サービスの充実を図るべき。請求書・領収書等の作成、郵送コスト削減と職員負担の軽減、徴収率向上にもつながると考える。

議員ご指摘のとおり納付方法の拡充は市民サービスの観点からも重要であり、実現化に向けて検討する。

用語解説

【農地中間管理機構関連 農地整備事業】農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構(耕作不在の農地を借り受けて農業者に貸し出す組織)が借り受けている農地を所有者の費用負担なく整備する事業。

主な議案の概要

5月臨時会

市長から提出された議案のうち、議案第1号は令和元年度一般会計補正予算、議案第2号、第3号は条例の制定、議案第4号、第6号は専決処分承認を求め、議案第7号は監査委員の選任に関する議案です。

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億8280万3千円を増額するもので、補正後の予算総額は46億880万3千円。本年10月に予定されている消費税率の引き上げに伴い実施される、低所得者及び子育て世帯向けに発行するプレミアム付商品券事業に係る事業経費について、所要の補正を行うもの。

6月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号、第4号は一般会計の補正予算、議案第5号、第15号は条例の制定、議案第16号は契約の締結、議案第17号は規約の制定に関する協議についての議案です。

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ18億8293万9千円を増額するもので、補正後の予算総額は48億774万2千円。歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金及び市債の増額。歳出の主なものは、単身世帯等の高齢者を対象にした高齢者見守り事業、おじいちゃん・おばあちゃんありがとつあいの気持ちを伝える事業、幼児教育無償化に向けた事務経費、風しん抗体検査やワクチン接種委託料等による事業費の増額。債務負担行為補正は市長等特別職公用車の貸借等15件の追加。地方債補正は道路改修事業債等5件の追加・変更。

議案第1号・修正案

補正予算のうち、おじいちゃん・おばあちゃんありがとつあいの気持ちを伝える事業関連の歳入歳出予算450万円を減額。

議案第6号 佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

本年10月の消費税率改正に伴い、市が設置する施設の使用料及び利用料金と一部の事務手数料について、消費税相当額を8%から10%に改めようとするもので、佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例ほか20条例を一括して改正するもの。

議案第9号 佐倉市市民協会の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市民協会の活動に関する施策について制度開始から10年が経過したことから、地域の活性化及び地域課題解決に対応するため、内容の見直しをするもの。

議案第13号 佐倉市森林環境譲与税基金条例の制定について

国から配分を受けた森林環境譲与税を積み立て、森林の整備及び促進に関する施策の財源に充てるため、佐倉市森林環境譲与税基金を設置するもの。

令和元年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 承 承認 同 同意 〇 賛成 〓 反対 議 議長 一 採決不参加

Table with columns for bill number, name, party (Sakura, Komei, etc.), and voting results for each member.

令和元年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 否 否決 採 採択 不 不採択 〇 賛成 〓 反対 議 議長

Table with columns for bill number, name, party (Sakura, Komei, etc.), and voting results for each member.

会派等の意見

たぐひ

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算、議案第2号、議案第4号 佐倉市特別会計補正予算について

今年度の当初予算は、統一地方選挙の関係から骨格予算として編成されたものであり、新規事業などは、この議案第1号の令和元年度佐倉市一般会計補正予算で編成、提案されていることから、次の2つの観点に主眼を置き審査を行った。

2点目は、財政調整基金が通減傾向であることに加え、単年度あたりの純粋な収支を表す「実質単年度収支」が、直近で2年連続して赤字になるなど、厳しい財政状況が続いていることを見合った事業規模及び経費が計上されているのか、という観点である。

市内に防犯カメラを設置する地域防犯活動推進事業や、幹線道路整備事業、排水路整備事業等が計上されていることを確認した。

また、「命と健康を守る施策の推進」に資する感染症等予防事業、「産業、経済の活性化」に資する事業として、サイクルーツリズムに関するイベントの実施等を行う観光資源創出事業や、佐倉草ぶえの丘整備事業等、市長が掲げる8本の柱を鋭意進めるための事業が数多く盛り込まれており、厳しい財政状況を踏まえつつも、西田新市長の特徴を反映した内容であると同時に、当面の課題にも対応した内容であると評価した。

一方、「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ち」を伝える事業は、これまでの「敬老事業運営事業」を継承する事業として提案されたものであるが、経費や会場の確保、過重となった地域負担等、当該事業の見直しの契機となった、さまざまな課題の解決には至らないものと判断した。執行部には、今一度、各地区の実情をしっかりと精査するとともに、市内の全ての地区において敬老事業が展開できる制度として再提案することを求めた。したがって、議案第1号については、所要の修正を加えた上で賛成した。議案第2号から議案第4号までの各特別会計の補正予算案は、それぞれの目的

公明党

議案第1号「令和元年度一般会計補正予算」に賛成

「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ち」を伝えたい事業は、委員会審議の中でも、事業実施に当たり、十分な予算配分ではなく、難色を示す地区が出てくる懸念がある。この意見が出されている。参加対象者と運営ボランティア、それぞれの立場から意見を良く聞いた上で、最善の提案をされることを望ましいと判断し修正案に賛成。議案第6号「佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」に賛成

自由民主党

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算

シテイプロモーション事業、キャリアクター活用と今後の方向性を再検討する時期であり、佐倉市の強みを生かした広報の活用を求め、インターネット等広報事業、総合トップページ作成では、より関心が高まるよう作成することに期待。産婦健康診査事業、受診率84・8%となり産後うつや虐待予防の効果が得られるため受診率向上へ周知徹底し産後ケアとの連携強化を。里親制度普及啓発事業、7組の受け入れがあるため産婦健診、里親制度とで切れ目ないサポートの確立を希望。おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業、地域格差を生み開業困難な地域がでるため修正案に賛成。地域の現実的要望に即した予算編成を求める。佐倉市スマートオフィスプレイス、女性の利用増や固定利用者の獲得。オープンスペース利用者へ柔軟に対応し需要増を求める。議案第9号 佐倉市市民協働の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市民ネットワーク

主な反対理由議案1、13号

①佐倉図書館建設予定地と市営住宅跡地の埋蔵文化財発掘調査等は地下図書館案を市長が見直さず予定通り進めるための予算。市民意見を聞かず強行する姿勢は到底認められない。②スマートオフィスプレイス事業はビル貸主に賃料を含め建築工事等の全事業費が支払われている。当初から崩しの事業実施で公正な指定管理者を選定できるか大変疑問。③森林環境譲与税基金の税は森林経営管理法に基づくもの。この法律では、所有者の同意なしで市町村等が森林を伐採できる。森林取り上げという財産権侵害や、山を丸裸にする環境破壊等多くの問題がある。議案5、6、8、14、15号

「生活が苦しい」との回答が57%。実質賃金も下がり続ける中で消費税を10%に引き上げるべきでなく、それに伴う施設利用料、手数料等の2%引き上げに反対。市民オンブスマンひまわり会

なく、良く検討すべき)を提出し、本会議で可決。

当会派は予算を削除せず、多様な開業要領に対応可能な予算の「割り振り方法」を定めるべきと判断した。

今年度は市民全体で敬老事業を考え、各種の試みをする良い機会であり、予算の削除には反対をした。

日本共産党

消費税増税を見込んだ議案1、3、5、6、8、10号に反対。

所得に関係なく課税される消費税は不公平な税制で、市民の負担を増やし景気悪化を招くもの。昨年値上げしたばかりの利用料・手数料、有料化した公民館利用料にもさらに増税することに反対する。教育の無償化は国が行なうべき当然の施策であるにもかかわらず、消費税を幼児教育無償化の財源に充て増税の口実にするのは許されず、増税議案に反対する。佐倉図書館の建て替えでは市民の願いを受け入れず、複合施設の地下を図書館にする計画は白紙撤回すべき。

市民オンブスマンひまわり会

敬老会予算削除に反対

今年度の敬老事業は、各地域、団体が考えて、実施要領を提案する方針だった。それに対し市長提出の予算案(補助金)は450万円(昨年度は委託費として4200万円)と大幅減額。これに対し、一部会派が予算案削除の修正(拙速では

会派に属さない議員

議席3番

修正議案第1号に反対 「敬老会事業」について、執行部提案の予算450万円をゼロにし、再検討を促すとする議会の修正議案に反対。毎年継続案件である敬老会事業について、議案が予算をゼロにするならば、ある程度具体的な方針

を要する事業として、市内に防犯カメラを設置する地域防犯活動推進事業や、幹線道路整備事業、排水路整備事業等が計上されていることを確認した。また、「命と健康を守る施策の推進」に資する感染症等予防事業、「産業、経済の活性化」に資する事業として、サイクルーツリズムに関するイベントの実施等を行う観光資源創出事業や、佐倉草ぶえの丘整備事業等、市長が掲げる8本の柱を鋭意進めるための事業が数多く盛り込まれており、厳しい財政状況を踏まえつつも、西田新市長の特徴を反映した内容であると同時に、当面の課題にも対応した内容であると評価した。一方、「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ち」を伝える事業は、これまでの「敬老事業運営事業」を継承する事業として提案されたものであるが、経費や会場の確保、過重となった地域負担等、当該事業の見直しの契機となった、さまざまな課題の解決には至らないものと判断した。執行部には、今一度、各地区の実情をしっかりと精査するとともに、市内の全ての地区において敬老事業が展開できる制度として再提案することを求めた。したがって、議案第1号については、所要の修正を加えた上で賛成した。議案第2号から議案第4号までの各特別会計の補正予算案は、それぞれの目的



委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

《審査結果》

議案1	議案5	議案6	議案7	議案8	議案9
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案16	議案17				
可決	可決				

開催日：令和元年7月1日 / 場所：第三委員会室

議案8件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・防災井戸の整備をはじめ、避難所の水の確保について、万全を期すよう研究していただきたい。
- ・地域まちづくり事業については、制度開始当初からの経緯も踏まえ、市民に対し条例改正の趣旨を十分に理解していただけるよう、丁寧な説明と対応を行っていただきたい。



五十嵐智美 藤崎良次 石井秀明
岡村芳樹 ◎平野裕子 ○中村孝治 萩原陽子

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案1	議案3	議案10	議案11	議案12	請願1
修正可決	可決	可決	可決	可決	採択
請願2	請願3				
採択	不採択				

開催日：令和元年7月2日 / 場所：第三委員会室

議案5件、請願3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・敬老事業については、敬老意識の高揚という原点に立ち返り、地域の声に耳を傾け、市内すべての地域で事業が実施可能な制度設計を行っていただきたい。なお、制度設計の再考に当たっては、スピード感をもって取り組んでいただきたい。



岡野 敦 齋藤寛之 木崎俊行
松島 梢 ◎久野妙子 ○櫻井道明 為田 浩

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案1	議案2	議案13
可決	可決	可決

開催日：令和元年7月3日 / 場所：第三委員会室

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・佐倉市スマートオフィスプレイスにつきましては、多様な働き方を推進する施設として今後ますますニーズが高まるものと思われるが、佐倉市の経済活性化という視点からも、さらなる集客に努めていただきたい。
- ・農作物保全事業につきましては、佐倉市内においてもイノシシによる農作物等への被害が増加傾向にあり、今後その被害額の拡大も予想されることから、有効なイノシシ対策について、引き続き検討をしていただきたい。



鍋田達子 密本成章 川口 絵未
斎藤明美 ◎敷根文裕 ○徳永由美子 玉城清剛

建設常任委員会

《審査結果》

議案1	議案4	議案14	議案15
可決	可決	可決	可決

開催日：令和元年7月4日 / 場所：第三委員会室

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・危険コンクリートブロック塀等転換助成事業については、早期に市民の安全を確保できるよう、所有者に制度の周知と理解を求め、さらに使いやすい制度となるよう検討されたい。
- ・近年、集中豪雨や局地的大雨による災害が多く発生していることから、治水安全度の向上を図るため、危機管理室等、関係機関と連携し、早急に対応していただきたい。



高橋とみお 宇田実生子 押木孝和
石渡康郎 ◎高木大輔 ○山本英司 稲田敏昭

議会の構成

～各委員会の構成が変わりました～

●会派・各常任委員会 議長 石渡康郎 副議長 為田 浩 議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

委員会 会派	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会改革推進委員会	広報公聴委員会
さくら会	◎平野裕子 ◎中村孝治 ※	岡野 敦 為田 浩 ○櫻井道明	密本成章 ◎敷根文裕	◎高木大輔 石渡康郎	敷根文裕 平野裕子 ◎櫻井道明	平野裕子 ※中村孝治 ◇石渡康郎	密本成章 岡野 敦 ◎高木大輔
公明党	※岡村芳樹	◎久野妙子	鍋田達子	押木孝和	久野妙子	※岡村芳樹 久野妙子	押木孝和
自由民主党	石井秀明	齋藤寛之	○徳永由美子	○山本英司 ※	○徳永由美子	石井秀明 ※山本英司	齋藤寛之
市民ネットワーク	※五十嵐智美	松島 梢	川口絵未		川口絵未	※五十嵐智美	松島 梢
市オープンマンひまわり会	※藤崎良次			宇田実生子	宇田実生子	※藤崎良次	宇田実生子
日本共産党	※萩原陽子	木崎俊行			木崎俊行	※萩原陽子	木崎俊行
会派に属さない議員			玉城清剛 斎藤明美	高橋とみお 稲田敏昭			○斎藤明美

●組合議会等

印旛衛生施設管理組合 木崎俊行、徳永由美子	佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 五十嵐智美、萩原陽子、藤崎良次	印旛郡市広域市町村圏事務組合 石渡康郎（議長）
印旛利根川水防事務組合 中村孝治	佐倉市八街市酒々井町消防組合 敷根文裕、高木大輔、櫻井道明	佐倉市監査委員 岡村芳樹
佐倉市、酒々井町清掃組合 山本英司、平野裕子、久野妙子	千葉県後期高齢者医療広域連合 中村孝治	

8月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

- ◆議会運営委員会 8月20日(火)
- ◆招集日 8月26日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 9月2日(月)～9月5日(木)
- ◆常任委員会 9月9日(月)～12日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月17日(火)～20日(金)
- ◆最終日 9月25日(水) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎043-484-6254

□インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様態を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

□CATV議会放映：本会議の様態を開催日の翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

お子さま連れで議会傍聴へ！

- 【対象児】生後6か月以上で就学前のお子さま
- 【利用可能日】本会議の一般質問のみ
(傍聴者おひとりにつき1日2時間まで)
- 【利用料】無料
- 【申込期限】各定例会の招集日まで
(8月定例会の場合は8月26日(月)まで)
- 【申込先】佐倉市議会事務局
☎043-484-6254
- ◆託児を希望される方は、申込先までお電話ください。お子さまをお預けいただく際の注意事項が記載された書類等を郵送させていただきます。

議会百景

4月に市議会の改選があり、12名の新人議員が誕生し、そのうち6名が広報公聴委員会に加わりました。これからの情報発信のあり方、他自治体の広報の取り組みなどを調査・研究し、佐倉市の議会だよりが、議会と市民の皆さまをつなぐコミュニケーションツールとなるよう、委員一丸となって取り組んでまいります。

(広報公聴委員長 高木大輔)

今年度より、議会だよりは市内セブンイレブン、イオンタウンユーカーが丘での店頭配架も行ってまいります。文字サイズおよび行間の拡大、写真掲載、1面、8面をフルカラーといたしました。議会の様子をわかりやすくお知らせし、市民の皆さまのご意見を伺い、より身近な議会へと努めてまいります。議会傍聴へも是非お越しください。

(広報公聴副委員長 斎藤明美)